電子てんびんと上皿てんびんの使い方

ポイント1　電子てんびんの使い方

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

①＿水平＿なところに置き，電源を入れる。
②何ものせていないときの表示を＿0.0＿gや＿0.00＿gに合わせる。
　粉末をはかるときは，薬包紙をのせてから，表示を0.0gや0.00gに合わせる。
③はかろうとする物をしずかにのせ，＿数値＿を読みとる。

ポイント2　上皿てんびんの使い方

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

■ 物質の質量をはかる場合

①水平なところに置き，針のふれが＿左右で等しく＿なる状態にする。
②はかろうとする物を一方の皿にのせ，他方の皿にそれより＿重い＿分銅（ふんどう）からのせる。
③分銅が重すぎたら，一つ小さい分銅ととりかえる。
　軽い場合は，のせた分銅より一つ小さい分銅を加える。
　これをくり返して＿つり合わせる＿。
　最後に分銅の質量を合計する。

■ 決まった質量の物質をはかりとる場合

①水平なところに置き，針のふれが＿左右で等しく＿なる状態にする。
②一方にはかりとりたい質量の分銅をのせ，他方の皿に薬品を＿少しずつ＿のせる。
③左右の皿が＿つり合うまで＿薬品をのせていく。

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 電子てんびんを使って物体の質量をはかるときの操作として正しいものは，次のうちどれか。
ア　電源を入れたらすぐにはかるものをのせる。
イ　電源を入れたら目盛りを0.0に合わせてからはかるものをのせる。
ウ　電源を入れ，目盛りを0.0に合わせてから薬包紙をのせ，次にはかるものをのせる。

イ

(2) 上皿てんびんはどのような場所に置いて使えばよいか。

水平な場所

(3) 上皿てんびんの指針がどのようになったとき，つり合ったと判断してよいか。

左右のふれが等しくなったとき

(4) 上皿てんびんを使って物体の質量をはかるとき，どのような操作をするか。　※利き手が右の場合
ア　左の皿にはかりたい物体をのせ，右の皿に物体よりも少し重いと考えられる分銅からのせていく。
イ　左の皿にはかりたい物体をのせ，右の皿に物体よりも少し軽いと考えられる分銅からのせていく。
ウ　右の皿にはかりたい物体よりも少し重いと考えられる分銅をのせてから，左の皿にはかりたい物体をのせる。

ア

(5) 上皿てんびんを使って粉末の薬品をはかりとるとき，薬包紙はどのようにするか。
ア　両方の皿にのせる。
イ　薬品をのせる皿にだけのせる。
ウ　分銅をのせる皿にだけのせる。

ア

(6) 上皿てんびんを使って決まった質量の物質をはかりとるとき，どのような操作をするか。
ア　水平なところに置き,針のふれが左右で等しくなる状態にし,一方の皿にはかりとりたい薬品をのせ，他方の皿につり合うまで分銅を少しずつのせる。
イ　水平なところに置き，針のふれが左右で等しくなる状態にし，一方の皿にはかりとりたい質量の分銅をのせ，他方の皿に薬品を目的の質量になるまで大まかにのせる。
ウ　水平なところに置き，針のふれが左右で等しくなる状態にし，一方の皿にはかりとりたい質量の分銅をのせ，他方の皿に薬品を目的の質量になるまで少しずつのせる。

ウ